

島原市報道資料

平成28年10月28日

報道関係者 各位

宝酒造株式会社島原工場への感謝状贈呈について

標記の件について、下記のとおり感謝状贈呈を行いますのでお知らせします。

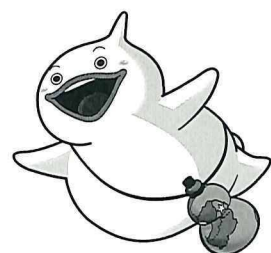
記

- 1 日 時 平成28年10月31日 午前10時～
- 2 場 所 島原市役所 第一応接室
- 3 相手方 宝酒造株式会社 島原工場
工場長 内木 正人 様
工場管理課 課長 中村 俊男 様
- 4 その他 経緯等については別紙のとおり

有明海にひらく湧水あふれる 火山と歴史の田園都市 島原



担当：島原市しまばら観光おもてなし課
観光施設班 担当 田上
電話：0957-63-1111（内線 213）
E-mail：j-tagami@city.shimabara.lg.jp



島原守護神 しまばらん

宝酒造株式会社島原工場への感謝状贈呈について（経緯）

本市は、昭和42年より、集中管理方式の温泉給湯事業を行っております。島原温泉は、比較的溫度が低いため、加温する必要があり、これまで、灯油を燃料とするボイラーで加温しておりました。しかし、年間約6千万円の燃料代とともに、施設管理費を含めて、年間約8千万円もの維持管理費がかかっていました。今後の化石燃料の高騰およびCO2排出削減への対応を考えると省エネ化や代替エネルギー等への早急な移行が望まれることから、ヒートポンプ方式による加温設備の計画を立てました。

そこで、宝酒造株式会社島原工場において、アルコール蒸留後の温水（温度約60℃、排湯量4,000m³/日）がほとんど利用されないまま海に排水されていたため、ヒートポンプに用いる熱源として利用する計画をたて、ご相談したところ、無償で温水を提供することに快諾していただき、平成26年6月に環境に配慮した島原温泉給湯事業の安定的な運営を図ることを目的として、排出される温水の使用に関する覚書を取り交わしました。

平成26年度から27年度の2か年間でヒートポンプ方式による加温設備への更新工事、熱源送湯管布設工事及び配湯管布設替え工事が完成し、平成28年4月からヒートポンプ方式による加温の本格稼働を行いました。

4月から9月までの半年間のデータでヒートポンプ導入前と比較すると、エネルギー消費量（原油換算68%減）、エネルギーコスト（73%減）、CO2排出量（66%減）となっております。

以上のように、宝酒造株式会社島原工場から排出される温水を無償で提供していただいたことにより、温泉給湯事業をはじめ、市政の発展にも大きく貢献していただいているといえます。よって、この度宝酒造株式会社島原工場に対して感謝状を贈呈することとなりました。